



東京日々新聞

二百二十拾號



惡漢茂助

上野國大輪村無宿茂吉。其妻の由は、一對の
虎夫狼妻。并が同惡の者と都合四名。越後國
渡辺村に潜伏せしと。埼玉縣官負及び捕亡吏
今成新左工門等。尽カして遂に是と捕獲し。新浮よう
帰途不赴くの船中。官負ハ柏崎縣廳へ公用有て
上陸せし隙と
窺ひ。

毒婦つよ

驚く今
成新左
工門と
倒し壓伏
て。己ホ
縛らせし。繩とて竟に縊殺し。
四人うち共。海中に跳入て。あと
白浪と逃走せり。これハ是
明治壬申八月十五日の事。然りと雖も
天網不洩。以てなまじき事
皆こころづく。結りつるるとぞ

點化老人誌

具足屋 後田彫榮

萬壽齋
奇夢齋

